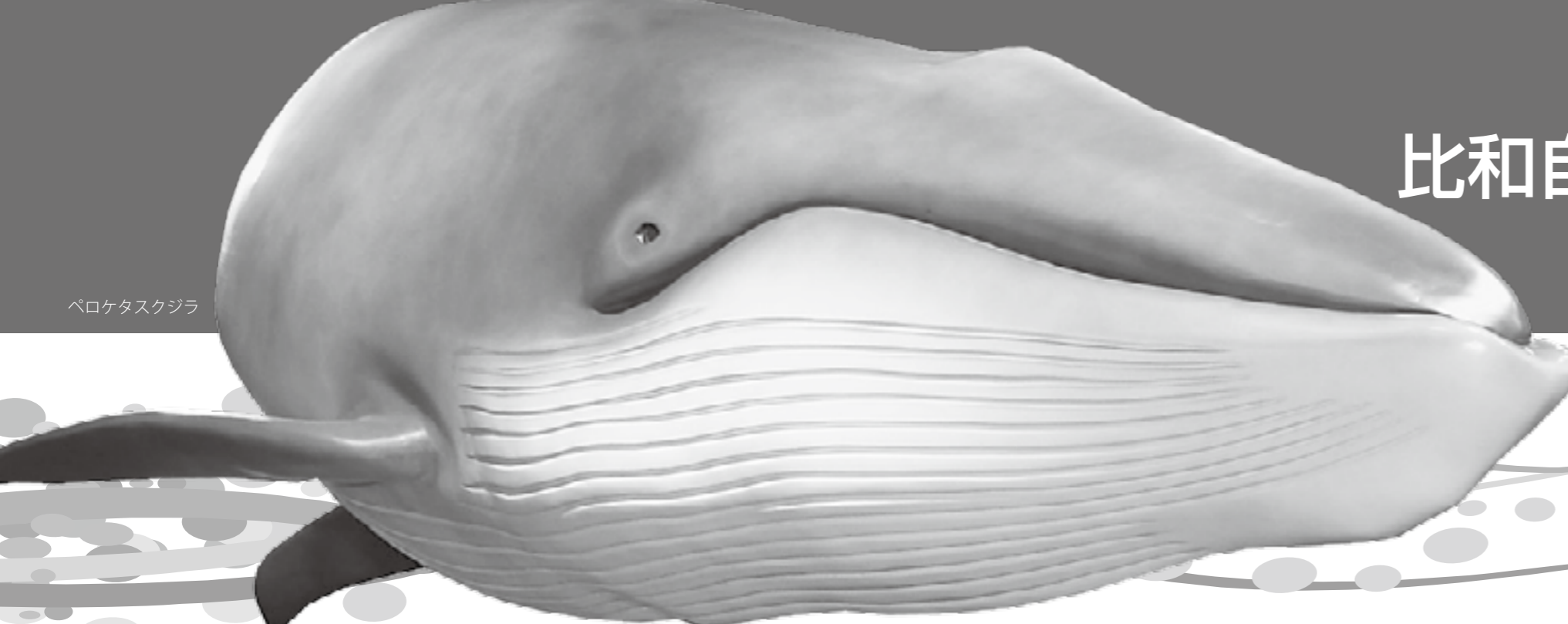


比和自然科学博物館 地学分館 7月20日オープン

ペロケタスクジラ



モグラ博物館として親しまれている「庄原市比和自然科学博物館」に、地質に関する資料を展示する「地学分館」が完成。7月20日にオープンし、翌21日から入館できます。今月は、この地学分館の魅力に迫ります。



ペロケタスクジラの化石

原寸大のクジラ を見に行こう！



地学分館は、観光交流や自然学習の場として、多くの方に活用できる魅力ある施設となっています。

地学分館では、収集や寄贈を受けた化石や鉱物資料が展示されますが、その中でも、クジラ類の化石は世界的に見ても新種の資料が多く、この地学分館でしか見られないものも数多くあります。

魅力あるクジラ博物館

地学分館では、整備の基本理念や基本構想が取りまとめられ、同博物館に隣接する比和支所の2階を地学分館として整備。22年度から23年度にかけて展示工事を行いました。

平成18年には、故広瀬繁登さんが設立した「庄原子ども化石館」から約8万点にもなる貴重な化石の寄贈があったこともあり、集まった膨大な資料を活用できる、新たな施設「地学分館」の整備が検討され始めました。

平成21年に地学分館整備検討委

膨大な化石資料の寄贈を受け地学分館の整備へ

特に、モグラ博物館とも言われるほどモグラの標本数は質が高く、日本でも有数です。また、併設してある郷土文化保存伝習施設では、自然・民俗などの資料を展示しており、町内の風土に触れることができます。

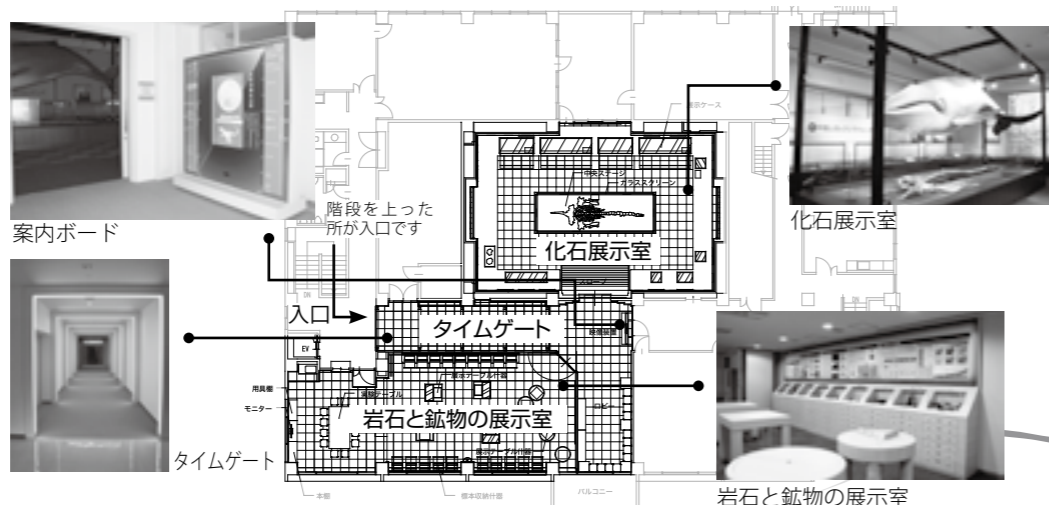
その歴史は古く、昭和26年に比和小学校内に「比和町立科学博物館」が設置されたことまでさかのぼり、今日までの60年間、町内はもとより、世界中の資料を収集・保管し、世界の博物館とも提携できるまでになっています。

比和自然科学博物館は、現在の建物が平成2年に完成し、25万点を超える動植物・昆虫類の標本などを展示する、広島県内でも数少ない自然科学系の博物館として知られています。

日本有数のモグラ博物館



比和自然科学博物館・地学分館
 比和町比和1119-1
 0824-85-3005
 9時～17時
 年末年始(12月29日～1月4日)
 一般(高校生以上)300円
 団体(20人以上)240円



展示資料

カキ化石

キムラホタテガイ

アメジスト

アンモナイト

オープン直前 見学会!

オープンまで残り1ヵ月と迫った6月8日、比和小学校の5・6年生がひと足早く地学分館を見学しました。



比和小学校
森岡紀子校長

実際に触れて学習できるのが魅力

目の前でクジラの原寸大の模型や発掘された骨を見て「ここが海だったんだ」と子どもたちも実感したようです。クジラが迫るような映像を見られたり、標本を自由に動かし実際に鉱物などに触れたりして学習できるので、とても魅力的な施設ですね。子どもたちも、町内に自分たちの自慢のものがまた一つ増えたと喜んでいきます。今後も学習に役立てていきたいと思っています。



展示されている鉱物などは、一部を除き、手で触れて観察することができます。



収蔵ケースを卓上に移動し、じっくり調べるすることができます。



大きなクジラがすごい迫力だったよ

井澤 克彰くん 加藤 真皓くん
梶 翔希くん 梶川 昂生くん

「大きなクジラがすごい迫力だった」「昔のクジラを知ることができた」「展示されている石は、普段触っている石とはちょっと違って面白かった」「近いのでまた来て学習したい」とそれぞれ感想を話してくれました。



インタビュー

比和自然科学博物館
館長 中村慎吾さん



全国に誇る『知的遊園地』 クジラ化石の種類、量とも日本一

「中国山地でクジラウォッチング」できる博物館が間もなくオープンします。中国山地でクジラウォッチング? 本当に山の中でクジラを見る事ができるの?と不思議に思われる方も多いかと思いますが、全くその通りです。比和自然科学博物館で、クジラウォッチングしていただけるクジラは、約1千500万年前の大むかし、庄原市一帯が海だったころ、その海へ回遊し

てきていたヒゲクジラの仲間です。30年前、西城川の川床でクジラの化石が発見されてから、その後も次々と発見が相次ぎ、それらのクジラの化石が研究された結果、ヒロセヒバクジラ、ヤマオカクジラ、シヨウバラクジラと、ペロケタス属のクジラ(名前はまだついていない)の4種のクジラが回遊してきていたことがわかりました。これらのクジラは、イルカなどの祖先ではなく、世界最大の動物であるシロナガスクジラの祖先であることもわかり、これからの研究が期待されています。

西城川の川床と新庄町という狭い範囲で4種類のクジラが発見されたという例は、庄原以外にはなく、クジラ化石の種類、発見された化石の量とも日本一で、一躍全国から注目を浴びるようになりました。

これら庄原で発見されたクジラの化石を、多くの人に見ていただき、役立てようという観点から「中国山地でクジラウォッチング」できる博物館が生まれました。

この博物館には、庄原子ども化石館(掛田町 代表 廣瀬マス子さん)から庄原市へ寄贈された約8万点の化石標本、横山鶴雄博士(中本町)や藤井守さん(呉市)、陶山礼子さん(三次市甲奴町)、塚本清治さん(広島市)が収集されたアンモナイトや三葉虫など



中村館長の説明を興味深く聴く児童たち

口和郷土資料館



最新情報機器の原点である蓄音機や電話機などのアナログ機械を始め、開発期からの多様な音声・映像機器など多数展示しています。触れて体験・体感できるものがいっぱいあります。

◆ここがオススメ!
16ミリや35ミリの映写機、64席を備える本格的な映画館「ふれあいシネマ」。不定期上映なのでお問い合わせのうえ、お見逃しなく。

住 口和町永田9
☎ 0824-87-2230
時 9時~17時
休 毎週火・水・金・日曜日
年末年始(12月29日~1月4日)
料 無料

庄原市帝釈峡博物展示施設 時悠館



帝釈峡岩陰遺跡群の出土遺物を中心に、石灰岩台地特有の動植物や東城地域の民俗文化財などを展示しています。1万2000年前の「無文土器」や固有種の陸貝「タイシヤクギセル」など、珍しい博物資料がいっぱいあります。

◆ここがオススメ!
入場後エレベーターから降りると目の前に「時空旅行のトンネル」が現れるぞ。さあ縄文時代にタイムスリップしてみよう!

住 東城町帝釈末渡1909
☎ 08477-6-0161 時 9時~17時
休 毎週水曜日(祝日の場合は開館、翌日は休館)
料 年末年始(12月29日~1月4日) 一般(高校生以上)400円 団体(20人以上)320円 中学生以下無料

庄原市田園文化センター



皆さんの生涯学習を援助する図書館、郷土の作家倉田百三の資料を整備・展示した倉田百三文学館、歴史民俗資料館、展示ギャラリーなどに利用できる多目的ホールがある複合文化施設です。

◆ここがオススメ!
本市出身の倉田百三が残した約400点の作品が観覧できます。市内には、百三ゆかりの場所もあり、そこを訪ねてみるのもおすすめです。

住 西本町2丁目20番10号
☎ 0824-72-1159
時 10時~17時(図書館は19時まで)
休 毎週火曜日
料 年末年始(12月29日~1月4日) 無料

今年の夏休みは文化施設巡りがオススメ

☆市内の文化施設を巡ってみよう

市内には比和自然科学博物館以外にも、貴重な資料が収められている文化施設がいくつもあります。夏休みの自由研究などで利用するのもひとつ。「知っていても行ったことがない」という方は、新しい発見があるかもしれません。身近で芸術、歴史、文化に触れることができますので、夏休み期間中に親子での利用などいかがでしょうか。